

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年 1月18日

開催日	平成30年 1月11日	時 間	10:00~12:00
場 所	金沢公会堂リハーサル室	出席人数	12名
講 師	真田雅行氏	作成者	兒玉 仙三
テーマ	第一学習 野嶋浦 鈴木家文書②今回も真鶴村 池田家文書から		
概 要	<p>○乍恐以書付奉願上候御事（安永六丁酉年八月、泉州堺池田与七郎他から伊東栄助他へ出した願）石橋浦より伊豆境まで御菜御運上金、去る子年より拾ケ年間、前々の通り請負い罷りある処、又々来る戌の年より拾ケ年仰付け下さる様願い上げ奉り候。近年不漁が續、船綱諸道具等修復し兼ね、更に去る申九月の大浪でも甚だ難儀してる。しかし、私儀、数年請負って来ている上に、上記のお願いをした。別而、浦方不漁に付き、二件の請負が無くては納屋相立て兼ね、殊の外難儀候。何分御取成を以て、前々の通り仰せ付け下され度く。</p> <p>○一札之事（寛政二年戌八月、漁師共五十八人連印して 笑右衛門殿 へ差出）野島浦之儀は新肴場附浦にて、前々は問屋中より魚漁船一艘に付き、新舟代金貳両貳分ずつ請取り、新舟を作り、八ケ年限り、その船を用い、魚漁致し、魚送りして来た。しかし、十四五年来新舟代金は問屋より出金無く、他所より借舟等致し魚漁致し、近年は不漁にて魚送りも出来ず、困窮難儀致し候。然る処此の度、貴殿が新肴場問屋中へお掛合下さり、前々の通り新舟造作金を問屋より請取り、新舟を作り、魚漁に出精し、魚送り候様仰せ聞けられ承知致しました。然る上は、日々の漁事相違無く送り、漁師共名前替えもせず、古来の通りの名前にて送りますので、新舟為作のお世話をして下さい。若し外売り等があれば、何らの落ち度にも仰せ立られ度く。その節、一切違乱申しません。ここに漁師共連印して一札差し出します。</p> <p>○乍恐以書付奉願上候御事（寛政五癸丑年五月、真鶴村 鯛長繩与七郎他から柴山郡兵衛他へ出した願）数年来、鯛長繩并御菜御運上納、是迄請負仕り有難く存じ候。然る処、近年大不漁に付き納金が滞り勝ちで、月延べ御願い申し上げた処、何れ御上納仕るべく申され、当惑しています。私儀も数代お請負仕り、只今に至り御浦召上られては、家内の者共露命を繋ぐ事が出来ません。大御慈悲を以て、この願いをお聞き下さい。</p> <p>○差上申済口證文之事（寛政十一未年十一月、評定所へ連印して差出した證文）上総・武蔵・相模の三ヶ国二十八ヶ村惣代、神奈川領新宿村、名主・源兵衛の煩いの為、代漁師頭長右衛門等四人の者より訴訟を起こす。以下は翌月へ続く</p>		
次回予定	平成30年 1月25日 10:00~12:00 於：金沢区民活動センター 第二学習 艱難実録(箱館戦争)⑤		